

淡路三原高校英語科 CAN-DO リスト ～「心」で学ぶ「使える」英語～

聞くこと

👑 「音」に乗せられた「メッセージ」を受けとめること

- ◇ 対話の内容が聞き取りにくいとき、一生懸命に聞こうとする姿勢を持ち、必要に応じて質問をするなどして内容を深めることができる。
- ◇ 海外から淡路三原高校を訪れる人と会話し、相手にストレスを与えずに内容を理解することができる。
- ◇ 映像資料などがあれば、外国語放送の内容を80%程度理解できる。
- ◇ 英検 CSE スコア 600

学習到達目標	point	1st	2nd	3rd
●雑音ではなく、メッセージとして英語を認識し、理解しようとする。	1			
ゆっくり話されれば、授業で英語の指示を聞き取り、動くことができる。	1			
●リズムやイントネーション、音のつながり等、英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	2			
授業で読んだ内容に関する質問を聞き取ることができる。	2			
ALT によるインタビューテストで、身近な話題に関する質問内容を80%以上理解することができる。	3			
●わからない単語や聞き逃した箇所をこたわらず、前向きに続きを聞こうとする。	3			
●意味のまとまりを意識して聞き取ろうとする。	3			
●質問に答える、絵に合う英文を選ぶ、次に続く発話を選ぶなど、明確な目的を意識して聞くことができる。	3			
●話し手の意図や気持ちを考えて聞くことができる。	4			
聞き取ったことをすべて書き取るのではなく、大切だと思う情報を選んでメモすることができる。	4			
自然なスピードで行われる日常会話の大まかな内容を理解することができる。	4			
100 語程度の背景知識のない説明文を聞いて、おおまかな内容を日本語でまとめ、説明することができる。	5			
自然なスピードで行われる日常会話の詳細まで理解することができる。	5			
自分になじみのない話題において、自然なスピードで話されても70%以上を理解することができる。	5			
高校生スピーチコンテストの発表を原稿を見ずに聞き、要旨を理解することができる。	5			
Total				

話すこと(やりとり)

👑 「伝えたい」「分かり合いたい」という気持ちが一番！

- ◇ ひとつの主題について、ディスカッションのパネリストとして意見を述べたり、司会者としてまとめたりして、議論を進行することができる。
- ◇ ALT や留学生と様々な話題について自然なスピードで十分に対話を続けることができる。
- ◇ 日本の文化や習慣について、ALT や留学生、外国からの来客の疑問に対して的確に答えることができる。

学習到達目標	point	1st	2nd	3rd
●自分に関することや身近な話題について、単語や単文をつなげ、へこたれずに意思疎通しようとする。	1			
●スムーズに伝わらない時、聞き返しや質問など努力を続け、相手に不快な思いをさせない。	2			
絵や図表、文章などに与えられた情報に基づく質問に、主語・動詞のある文で答えられる。	2			
授業で学習した題材をもとに、司会者または登場人物として、原稿を見ずに意見の交換ができる	3			
●つなぎ言葉を用いるなどして会話を意欲的に続け、話し相手とともに会話を楽しむことができる。	3			
自然なアイコンタクトやジェスチャーを用いて話すことができる。	3			
質問に対する自分の考えと、そう考える理由を即興で述べるることができる。	3			
●場に応じた表情、声のトーンで、相手を思いやりながら会話を続けることができる。	3			
教室や講義棟など、学校内の施設や場所への行き方をALT や外国からの来客に伝えることができる。	3			
ひとつの主題に関する意見に対して、自分の考えと、そう考える理由を即興で述べるることができる。	4			
相手の意見や考えを尊重し、要点を押さえながら繰り返した上で自分の意見を主張することができる。	4			
あいづちをうち、'well'、'let me see' など、間を持たせる言葉を使いながら会話を続けることができる。	4			
●具体例を提示したり、言い換えたりして、相手の言う内容を確かめながら会話を続けることができる。	5			
中学既習の動詞の時制や用法を会話の中で使いこなすことができる。	5			
●ディベートなどで、グループで協力しながら、説得力のある議論を展開できる。	5			
Total				

話すこと(発表)

👑 伝えたいから話す。聞いてみたくなる発表を。

- ◇ 視覚効果を考慮し、適切な文字数・構成で、発表内容をサポートする資料作成ができる。
- ◇ 場面や言葉の使い方に留意し、聴き手を納得させられる発表ができる。
- ◇ 英検 CSE スコア 520

学習到達目標	point	1st	2nd	3rd
聴き手の人数や状況に合う声量で、はっきり、堂々と話すことができる。	1			
●聴き手に伝えようと意識して話すことができる。	2			
●リズムやイントネーションに注意して話すことができる。	2			
学習した表現を積極的に用いて話すことができる。	2			
よい姿勢で、自然なアイコンタクトやジェスチャーを用いて話すことができる。	3			
イラストを見て、的確なつなぎ言葉を用いてストーリーを話すことができる。	3			
原稿を見ずに1分間のスピーチができる。	3			
●相手に伝わるように、分かりやすい単語や表現を用いて話を展開できる。	3			
論理の展開にふさわしいタイミングで資料を用いて効果的に伝えることができる。	4			
授業で学習した内容について、keywords を見ながら、自分の言葉で再現できる。	4			
●事実の羅列や考えの説明に終始せず、感情をともなったパフォーマンスとして発表することができる。	4			
与えられたテーマについて、1～2分程度の即興スピーチができる。	4			
質疑応答でさらに内容を深めることができる。	5			
●聴衆が理解しているかどうかを確認する余裕を持って発表ができる。	5			
●聴衆が理解していないと感じた時、ゆっくり繰り返したり、言い換えたりして、工夫することができる。	5			
Total				

読むこと

 単に字面を追った言葉の理解だけでなく、深く読み取り、自分の考えを構築すること。

- ◇ 相応の背景知識を持ち、英字新聞の内容が辞書なしでもほぼ理解できる。
- ◇ 辞書やインターネットでの画像検索を使用して文化的背景を探りながら小説の内容を深く理解し見識を深めることができる。
- ◇ 3年生の教科書の英文を毎分 120～130 語の速さで読み、要旨をつかむことができる。
- ◇ 大学入学共通テスト筆記問題の正答率 90%
- ◇ 英検 CSE スコア 600

学習到達目標	point	1st	2nd	3rd
●ひとつの英文を、センスグループを考えながら音読することができる。	1			
●聞き手を意識し、発音に気を付けて、相手に伝わるように音読することができる。	2			
●教科書の既習内容を理解し、意味を確かめながら自信を持って音読できる。	2			
動詞の意味、時制、形を意識しながら読むことができる。	2			
短時間で速読し、必要な情報を引き出し、パラグラフチャートを作ることができる。(scanning)	3			
筆者の意見、考えと事実を区別しながら読むことができる。	3			
要点を示す語句や文、つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる。	3			
●言葉に込められた書き手の意図や考え、思いを理解しようと前向きに読解に努めることができる。	3			
●1文、1パラグラフずつではなく、文章全体の構成を意識しながら読むことができる。	4			
●他者に伝えることを念頭に、短時間で文章や広告から必要な情報を迅速に読み取ることができる。(skimming)	4			
●不明な単語があっても、文脈から推測したり、言い換えられた語を探したりしながら読み進められる。	4			
パラグラフ内での Topic-Support-Conclusion を意識しながら読むことができる。	4			
教科書の新しいレッスンの1パートを読み、100字の日本語で流麗にまとめることができる。	4			
関係詞や接続詞を含む長めの文を、日本語を介さずに前から読み進めることができる。(英語を英語で理解する。)	5			
興味のある社会問題や自然科学分野に関して、自ら文献を探し、論文から知識を得ることができる。	5			
Total				

書くこと

 **In language, simplicity is everything.**
不必要に高度な文法や単語を使わず、見えない読者を思って書こう。

- ◇ 50 語程度で伝えたいことをまとめ、単語や文法を調べながら読者がわかりやすい文章を書くことができる。
- ◇ 1000 語以上の説明文を論理的に解釈し、要点をとらえて 100 語程度の英語、または 200 字程度の日本語で要約できる。
- ◇ 物語文では、登場人物の気持ちを行間やキーワードから読み取り、自分の意見を含む感想を書くことができる。
- ◇ 英検 CSE スコア 600

学習到達目標	point	1st	2nd	3rd
●主語・動詞を意識して文を書くことができる。	1			
聞いたこと・読んだことに関して、簡単な単語を使って短い感想や意見を書くことができる。	2			
●授業で学んだ文法事項や構文を積極的に用いて書くことができる。	2			
●自分の意見、考えと事実を区別しながら文章を書くことができる。	3			
文法事項を調べながら、1分間スピーチの原稿を書くことができる。	3			
テーマに沿って、introduction, body, conclusion を含んだ数段落で構成される文章を書くことができる。	3			
●要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	3			
story reproduction 活動で制限時間 (8-10 分) 内に 80 語以上書くことができる。	3			
●読み手が自分を知らない場合でも、自分の人となり(個性)を伝えることを意識して、わかりやすい文章を書くことができる。	3			
状況に合わせて適切な語数を判断し、構成を工夫して書くことができる。	4			
retelling (教科書の抜き出しは×) 活動で制限時間 (8-10 分) 内に 80 語以上書くことができる。	4			
身近な話題に関して、賛成・反対の意見とその理由を論理的に構成し、100 語程度で書くことができる。	4			
文章の種類に応じて構成を考え、辞書を使わず 100 語程度の文章を即興で書き、読者に伝えられる。	5			
重文、複文を用いながらも、単語に込められた意味をよく理解し、不必要に難解な表現を用いず、ネイティブに自分の思いを伝えられる。	5			
十分な準備時間が与えられれば、自己 PR 含む 400 語程度の志望理由書を書ける。	5			
Total				

英語上達への道のりを記録しよう

1 学 期	できるようになったこと・うれしかったこと
	授業外で努力していること
	これから頑張りたいこと
	授業担当者への質問・リクエスト
2 学 期	できるようになったこと・うれしかったこと
	授業外で努力していること
	これから頑張りたいこと
	授業担当者への質問・リクエスト
3 学 期	できるようになったこと・うれしかったこと
	授業外で努力していること
	これから頑張りたいこと
	授業担当者への質問・リクエスト